

# 荒川工科高等学校との共催イベント

荒川区青少年育成地区委員会連絡協議会

令和5年12月、都立荒川工科高等学校のご協力により「電子ちょうちん製作体験」「キャンドルクラフト体験」を実施しました。区内在住・在学の小学3年生から6年生までの児童が「電子ちょうちん製作体験」に74名、「キャンドルクラフト体験」に38名参加しました。本イベントは令和3年度から始まり、今年度で3回目となります。

クリスマスの仮装をした生徒さんと先生方が子どもたちを明るく迎えてくださり、体験がスタートしました。同校定時制の生徒の皆さんが、子どもたち一人一人に声をかけ、製作する際の注意点や作業のコツなど、子どもたちが安全かつ楽しく作業できるよう優しく教えてくださいました。参加した子どもたちは難しい作業も、先生や生徒さんの優しいサポートを受け、思い思いにアレンジを加え、素敵な作品を完成させることが出来ました。

はじめは緊張した様子の子どもたちでしたが、体験の最後には生徒さんに感謝の気持ちを込めてハイタッチするなど、微笑ましい様子が見られました。

子どもたちが作った電子ちょうちんは、12月27日から1月4日まで荒川工科高等学校の正門に飾っていただき、きれいに点灯している様子を見ることができました。

参加者からは「優しく声をかけてくれて楽しかった」「本格的で驚いた」「また参加したい」との声をいただきました。今後も子どもたちが様々な体験ができるよう、楽しいイベントを企画してまいります。

## アンケート

アンケートにお答えください。抽選で30名の方に「あらかわの心」オリジナル巾着をプレゼント致します。郵送が電子申請によりご応募ください。

### ● 郵送の場合

はがきに、1.住所 2.氏名 3.電話番号 4.アンケート①②③④をご記入の上、本ページ左下宛先を切り取り、はがき宛先面に貼り付け、お送りください。

### ● 電子申請の場合

こちらのQRコードを読み込み、応募画面にお進みください。



### ● 締め切り

令和6年6月15日。当選者の発表はプレゼントの発送をもってかえさせていただきます。

なお、いただいたご意見等は、ニュース等の広報誌でご紹介させていただくことがありますので、ご了承ください。

### ● アンケート

- ①以前から「あらかわの心」運動を知っていましたか。
- ②「あらかわの心」運動を何で知りましたか。
- ③もっとも興味・関心をもった記事は何ですか。
- ④「あらかわの心」運動へのご意見・ご感想を教えてください。



オリジナル巾着



製作時の様子



完成した電子ちょうちん・キャンドル



ちょうちん点灯時の様子



### 第36号 令和6年3月4日発行

発行 「あらかわの心」推進運動区民委員会事務局  
〒116-8501 荒川区荒川2-2-3 (荒川区子ども家庭部児童青少年課内)  
TEL.03-3802-3111 (内線3833) FAX.03-3802-3174

<Eメール> arakoko@city.arakawa.lg.jp

<ホームページ>

右記QRコードから、「あらかわの心」推進運動のホームページにたぶることができます。



# 「あらかわの心」ニュース



「あらかわの心」推進運動シンボルマーク

今号では、参加団体の活動報告や、第15回「あらかわの心」カルタ大会の様子についてお届けします。



あら坊 あらみい

第36号

令和6年  
3月4日発行

## 「あらかわの心」推進運動とは？

荒川区には、郷土と地域を愛し、人を思いやる温かくやさしい心が受け継がれてきました。

この「あらかわの心」を、次代を担う子どもに受け継いでいくため、「あらかわの心」推進運動では、

- まず大人が行動する
- 大人と子どもと一緒に行動する
- 地域ぐるみで子どもを見守り育てる

という3つの視点に基づき、

- 笑顔であいさつをしよう
- きまりを守ろう
- 思いやりをもとう
- いろいろな体験をしよう
- 見守り、声をかけよう

という心をつなぐ5つの取り組みを実践することで、大人も子どもも互いに尊重し、共に生きる地域社会の実現を目指す運動です。

## 第37回自然まるかじり体験塾

荒川区青少年育成地区委員会連絡協議会

令和5年8月28日(月)に「第37回自然まるかじり体験塾」を千葉県鴨川市の大山千枚田で開催し、区内在住・在学の小学校4年生から6年生までの児童19名が参加しました。

体験塾では、大山千枚田にある棚田での稲刈り体験と、藍の葉を煮出して作った染液を使いオリジナルのハンカチを作る藍染め体験を行いました。

残暑厳しい中での稲刈り体験でしたが、子どもたちは保存会の方から稲刈りのコツや注意点を教わり、慎重に鎌を扱って稲刈りを始めました。最初はぎこちなかった鎌の使い方も少しずつ上達していき、どんどん稲を刈り取っていきました。友達と協力して、稲の束を作り、最後は刈り取った稲を天日干しにする「はさかけ」作業を行い、収穫を終えることができました。

藍染め体験では、藍の葉を煮出す作業から始まり、子どもたちは作業を分担しながら染液を作り、真っ白なハンカチを思い思いの形に絞って染液に浸しました。時間をかけてハンカチを広げると、絞り方によって様々な模様ができ、同じものはない自分だけのハンカチを作ることができました。

学校や学年が違う子どもたちでしたが、体験を通じて皆で協力することの大切さや、毎日食べているお米の収穫の大変さを知ること、食べ物のありがたさを学ぶことができました。

受け入れてくださった、大山千枚田保存会の皆様に心より御礼申し上げます。



懸命に稲刈りを行う様子



染めたハンカチを自然の風で干す様子

## さくら教室学級生、4区合同レク大会に参加！

さくら教室 講師 榎 真理子

令和5年12月3日(日)、北区滝野川体育館で「令和5年度第41回城北ブロック4区合同レクリエーション大会」が開催され、荒川区のさくら教室からも学級生67名が参加しました。

さくら教室は、区立中学校特別支援学級の卒業生を中心に、学校卒業後も生涯を通じてクラブ活動や行事を親しむ場として、日曜日に開催する荒川区心身障がい者青年教室です。

今回の大会の目標は、「4年ぶりの再会をみんな元気に楽しもう！～絆を大切に～」です。当日は、台東区下谷青年学級、文京区スポ・レクひろば、北区あすか教室、そして荒川区さくら教室の学級生が一堂に会し、レクリエーションを楽しみ、交流を深めることができました。

学級生のみなさんが、これからも仲間と手をつないで仲良く、たくさんの「笑顔」で、人生をより豊かに歩むことを願っています。



レクリエーションの様子



準備体操の様子

## 各地区子どもまつりでカルタ会を開催しました

「あらかわの心」推進運動区民委員会



荒川・尾久・日暮里地区の子どもまつりで「あらかわの心」カルタ会を開催しました。地域の中学生ボランティアが読み手を担い、素敵な異年齢交流ができました。札を取れずに悔しさを泣き出してしまう子、負けた悔しさをバネに何度も挑戦する子がおり、どの地区でもほとんど列が途切れず、「あらかわの心」ブースは大盛況でした。



カルタ会実施の様子



## 第15回「あらかわの心」カルタ大会

「あらかわの心」推進運動区民委員会



令和6年2月10日(土)、生涯学習センターで第15回「あらかわの心」カルタ大会が開催されました。この大会は「荒川は笑顔とあいさつにあう町」から始まる「あらかわの心」カルタを使用して対戦するもので、カルタ遊びを通して「あらかわの心」推進運動について理解を深めてもらうことを目的としています。



対戦相手を変えながら4試合行いました



授賞式の様子

小学1～3年生33名が参加し「試合開始時に手は膝の上」、「お手付きは頭の上に手を置いて一回休み」などのルールを守って対戦しました。

子どもたちはカルタの読み札や絵札を通し、楽しみながら「あらかわの心」について理解を深め、ルールを守ることの大切さを学ぶことが出来ました。これからも、カルタ大会を通して「あらかわの心」推進運動の輪が広がるよう、引き続き普及・啓発活動を続けていきます。

## 「あらかわの心」カルタのご紹介・販売について

このカルタは、あいさつ・きまり・思いやり・体験・見守りの心をつなぐ5つの取り組みを表現しており、大人も子どもも楽しみながら、「あらかわの心」について一緒に考えていただけるカルタです。カルタは荒川区役所2階の児童青少年課窓口で販売しています。(一組500円)



### 登場するカルタ



あ：荒川は 笑顔とあいさつ にあう町  
い：いいことは 進んでしよう 自分から  
お：おばあちゃん いっしょにわたろう 小さな手  
た：大切な 命はぐくむ 地域の目  
ま：まちの中 めいわく駐輪 危ないよ

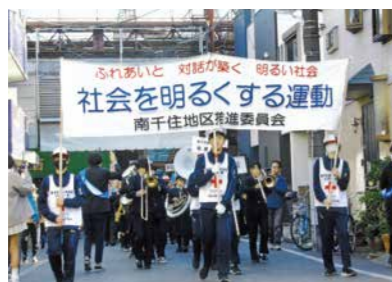
## 社明パレードを終えて



青少年育成南千住地区委員会 副会長  
“社会を明るくする運動”街頭パレード運営委員長  
後藤 晋輔

コロナ禍の為、大々的にパレードを実施できなかった3年間、ようやく元のパレードが戻ってきました。それでも、約1,300名の参加者があった最盛期に比べ、約800名と以前と同じとはいきませんでした。多くの参加者を迎え、パレードを実施出来たことは何よりも心を撫でおろしています。そして、パレードを観覧して頂いた方も大変多く、小・中学生の鼓笛隊・ブラスバンド部の皆さんは大いに盛り上がったと思います。地域の皆様がパレードに参加・観覧する事で、“社会を明るくする運動”について、今まで以上に理解し、老若男女問わず力を合わせて、安心・安全・明るい地域社会を築き上げる原動力となる活動に繋がったと思います。

今回、運営委員長の大役を務めさせて頂き、私自身も“社会を明るくする運動”を、より多くの方に理解して頂けるように今後啓蒙することで、地域の人々が支え合うコミュニティを築くことに繋がればと強く感じました。



中学生ブラスバンド部

## 地域ぐるみ大運動会を開催しました



荒川区高齢者クラブ連合会 理事 高梨 一彦

令和5年11月2日(木)、南千住スポーツセンター大体育室に高齢者たちが450名集まって、運動会を開催しました。

開会式には来賓の西川区長より挨拶を戴き、ラジオ体操で身体をほぐしてから競技のスタートです。大運動会では都議・区議の皆さまを交えてのパン食い競争、運動会定番の玉入れ競技等10種目を実施し、昼食の時間を含め楽しい一日を過ごすことが出来ました。競技の間では子どもたちのかわいい踊りかけっこで会場が和みしました。

運動会を通じて、健康作りとフレイル予防そして仲間同士のコミュニケーションを深められました。これからも健康で生き甲斐のある生活、介護予防の取り組み、高齢者相互のふれあい活動、そして地域の担い手としての活動をして参ります。



準備体操



玉入れの様子